

農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用

平成25年度概算要求額26百万円（平成24年度予算額52百万円）

農林水産技術会議事務局
技術政策課
03-3501-4609

事業の内容

被災地域の農作物等復興状況の把握

（事業期間：平成24年度～）

東日本大震災に伴う被災地域について、衛星画像を利用して効率的かつ的確に作物別作付面積を把握する。

（平成25年度概算要求額：25,500千円（25,500千円））

条件（対象者、対象行為、補助率等）



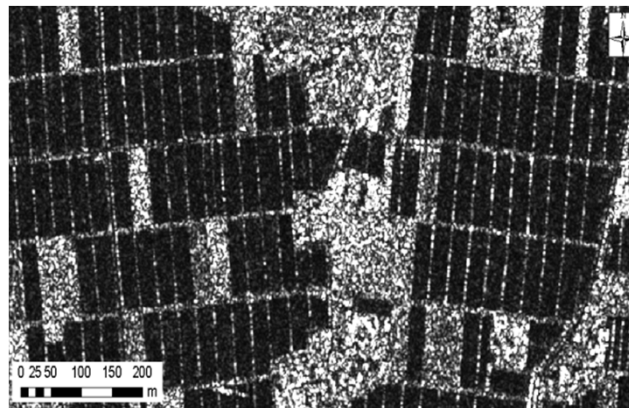
※平成24年度終了事業
衛星画像を活用した損害評価方法の確立事業（26,789千円）

事業イメージ

東日本大震災に伴う被災地域の農作物復興状況の把握

- 農業における各種復興対策を推進する上で、農業産出額等の市町村別統計による復興状況の的確な把握が必要。
- 被災農地面積等が大きい地域について、市町村別統計の基礎データとなる作物の作付面積を衛星画像を活用して効率的に把握。

○ マイクロ波センサ衛星画像（米の場合）



黒部分が田植期に水が張られたほ場の状態。
これに生育期の画像を重ね合わせ、ほ場状態の変化により水稲作付地を判別。
（生育期の画像では、水稲が生育しているほ場は白く写る）

○ 光学センサ衛星画像（米以外の作物の場合）



衛星画像から作付け地を特定し、効率的に巡回・情報収集を実施。

農作物復興状況の効率的な把握の実現